



No. 580

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都

文京区湯島2-4-4

平和と労働センター・全労連会館

電話 03(5842)6461

FAX 03(5842)6462

E-mail

chian@bz03.plala.or.jp

頒価 50円



安倍国葬反対9・27国会大行動

ブロック交流会を軸に旺盛な同盟活動を 2万人の組織で、政治動かす力に

台風15号で大雨に見舞われた皆様にお見舞い申し上げます。ロシアのウクライナ侵略から7カ月余。ロシアの行為は殺害・拷問・性暴力は「戦争犯罪」と国連が認定しました。プーチンは再び核兵器使用を発言、「はったりではない」と強調しました。岸田首相は、「国民の声には耳を傾ける」「丁寧な説明」と口にしながら、各種メディア調査でも安倍元首相の「国葬」反対は賛成の2倍、6割を超えているのに、強行しました。

自民党は、党所属の国会議員と旧統一協会の関係の点検結果を公表しました。衆参両院の379人中接点が確認された議員は179人(実名公表は121人)。公表後、報告漏れしたとして、山際大志郎経済再生相、木原誠二官房副長官、今村雅弘元復興相、平井卓也元デジタル相の追加・修正が報告されています。それだけでなく、安倍晋三元首相、細田博之衆院議長は対象外とされました。これでは、全容解明とは程遠いものです。なぜ癒着が生まれたのかを解明しない限り、再発防止にはなりません。

75歳以上の人の370万人を10月1日から直撃する医療費窓口負担引き上げ。政府は「負担能力、余裕がある」と強弁しています。10月3日開会の臨時国会で諸課題の徹底審議を強く求めます。ブロック交流会がはじまりました。交流会は、学習と経験の交流、会員の親睦を深めることです。第40回大会決定「1日も早く2万人同盟の建設」を実現する力にしようではありませんか。

主 な 記 事

- 中央常任理事会開く 2
- 私も一言/殿平善彦 3
- 各県本部大会・総会報告 4
- 抵抗の群像/小宮幸造 6
- 同盟文芸/短歌・俳句・川柳 7

中央常任理事会を開催

の支持を不支持
が上回っている

9月1日に開催された中央常任理事会は、参加45人でした。

最初に吉田万三会長が、この間、会長として全国を回ったの感想、とりわけ民間人には一銭も支払われないのに戦争を推進した旧軍人への多額な恩給問題や、安倍「国葬」をめぐる世論の反発に触れて挨拶。

続いて、田中幹夫事務局長が全大会から2カ月半を経過しての到達点の報告と運動の提案がありました。

情勢として、日々統一協会との癒着の実態が明らかになり、「国葬」反対の世論が過半数になってきたこと、特に「国葬」反対のネット署名が



ト署名が1秒に1人増え現在13万筆を越えたこと、各種の世論調査で岸田政権へ

ことなどが報告されました。

続いて運動の到達点では、8月1日現在20県で56人の会員拡大があったこと、新支部は7月に愛知県瀬戸支部が結成されたこと、映画「千代子」の第2次上映運動が大きな期待のなか開始されているが、上映権獲得に参加しているものの1万人以上が未鑑賞でいること、青年のなかにも「大学で上映したい」との声も生まれてきていることなどが報告されました。

最後に、11月6日〜7日の同盟女性交流会の成功と現在36都道府県で4670人(全会員の28・1%)の女性会員の拡大を訴え、さらに「学習テキスト」の編集委員会を立ち上げたことが報告されました。

その後、榎本よう子財政部長からの財政報告の後、昼食休憩に入りました。

○討論では、田中事務局長が同盟の規約について説明した後、13人が発言しました。

主な発言を紹介します。

沖縄の村山純さん

沖縄知事選で、デニー知事の勝利に全力をあげています。デニー知事は「誰ひとり取り残さない沖縄らしい社会の実現へ」を目指しています。

デニー知事は、先輩からいじめられて泣いて帰ると母から、「個性があるのが当たり前だ」といわれたことが原点になっていると村山さん。この4年間で、医療費を中学卒業まで拡大したことなどを紹介して、全国の支援を訴えました。

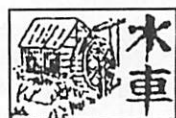
大阪の甲斐富貴雄さん

現在の会員は1913人です。今年中に2000人を達成しようと思いついています。会員の約50%に「不屈」などを郵送している状態です。

30人から80人も会員がいるのに支部がない行政区が8つあるので、それらの行政区に支部を結成して、会員が行動や行事などに参加できるようにしていきたい。

東京の清水邦治さん

映画「千代子」の上映では、約(3ページにつづく)



私は大学入学の直後「ユネスコ・クラブ」に誘われた。その年の研究テーマは「沖縄問題」だ。秋

の学園祭で発表した▼年明けの1969年3月、7人ほどで列車を乗り継いで西鹿児島駅まで行き、バスポートで那覇に渡航した▼嘉手納村役場の屋上に上ると見渡す限りの基地だった。9割の土地が接収されたという▼新兵は当時、ベトナムに送られる前に、沖縄で6カ月間訓練を受ける。上官と出くわしたときの応答が叩き込まれる。疲れ果てても直ちに直立不動で最敬礼。(上官) Why here? 「何しに来た」↓〈新兵〉 Why here? 「アジア人を殺しに」▼当時まだ「ひめゆりの塔」にも「摩文仁の丘」にも、平和を祈念する施設は何もなかった▼伊江島に阿波根昌鴻さんを訪ねた。お留守だったが、サトウキビの刈り入れを体験させてくれた▼その後の人生でこの旅を忘れたことはない。世界中でいま、新しく米軍基地が作られているのは辺野古だけだ。(明)

(2ページからつづく)

40団体と個人で実行委員会をつくって4回上映。630人が観ましたが、入会者は1人でした。同盟の活動を知らせることができなかったのが反省点です。

60数人から感想文が寄せられたのでそのつながりを生かして同盟に迎えたいと思います。

滋賀・西田清さん

映画「千代子」の上映では、13

団体で実行委員会をつくって上映を進めています。会員拡大では、317人を350人にしようとしているがなかなか増えません。

県本部、支部の役員が50人います。追求が弱かったです。自分も反省して1人を増やしました。拡大の意義が会員に伝わっていないので徹底していきたい。

新潟の小日向方昭一さん

犠牲者名簿をまとめています。

上越支部で再建大会を行い、8

人の会員が40人になりました。支部では市民に見える活動をしようと、同盟旗、ノボリを立ててアピールしています。1人でもスタンディングを実施しています。

会費集めでは年に何回か訪問して会話をしています。楽しくて元気の出る支部を目指しています。機関紙も交流できる内容に改善したいと思います。

千葉の小松敦さん

香取市では映画「千代子」を2回上映しましたが、後援した市長と副市長がそれぞれあいさつしてくれました。

平和宣言をしている市として、戦争のない社会にするために後援してほしいと要請しました。青年支部の結成を目指しています。

静岡の早崎末治さん

会員を500人にして、2万会員に貢献していきたい。自分たちの運動を自覚し、支部を確立してきました。

支部を確立すると活性化するので、支部建設の目標を持ちながら「いつ、どこで、だれに」を決めて活動していきたい。

この間、20代の青年が2人加入しました。

埼玉の大野辰男さん

会長は女性になり、幹部も少し若返りました。

情勢に見あった同盟を語る必要がある、新しいパンフの発行に期待しています。学習運動をつ(4ページにつづく)

私一言



間もなく、ある集会でアイヌのエキシ(長老)に出会いま

私は1945年、北海道で生まれ、古い封建制からも自由な風土を楽しんで少年期を過ごしました。学生時代は京都で学生運動の洗礼を受けて過ごし、1973年に帰郷しました。

それから

アイヌ、沖縄、在日コリアンへの植民地主義は一向に解決されぬままです

殿平善彦

私はアイヌの土地に無断で入植して何の代償も払わずに生きてきた植民者の末裔だったのです。

す。エキシは「お前たちはアイヌモシリを侵略した赤鬼、青鬼どもだ。アイヌはお前たちに土地を貸したつもりも、やったつもりもな

敗戦とともに海外植民地の歴史は幕を下ろしますが、アイヌ、沖縄、在日コリアンへの植民地主義は一向に解決されぬままです。この闇を超える努力なしに未来は見えないと実感する日々です。(浄土真宗本願寺派一乗寺住職)

(3ページからつづく)

くりだしていきたい。

東京・中嶋育雄さん

1300人の会員を目指してきてが、現在1285人なので目標のメドがついた。

支部づくりが決め手になるので、支部を増やしていきたい。

岩下美佐子さん(国際部長)

これからの国際活動について。

徳島・高原久美さん

千代子の映画を観た人とのつながりを生かし、次の世代にどう引きで行くか。

神奈川・宗形孝至さん

事務局長の兼任を解決して、前進を。

澤田勝雄さん『治安維持と現代』編集長

44号の内容と3300部の普及を。

永島民男さん(事務局次長)

「我らのやません」山本宣治の生き様を描いたブックレットの活用を。

各県本部の大会・総会

東京

第45回大会で1300人の自主目標達成

都本部は、9月19日第45回大会を開催。山田朗明治大学教授が

「今日における憲法9条の意義と役割」ウクライナ戦争と日本の軍拡を考える」をテーマに記念講演。

9条と憲法の不戦の誓いが、戦後政治の中で生かされて、国民の闘いで平和を守ってきたことの意義、安倍の9条改憲を許さなかったこと、今後、多くの国民が戦争の実態を知ることの重要性が語られた。同盟の役割の重要性を確信にしました。

第45回大会は、念願の1300人を突破し迎える事が出来ました。

この成果は、粘り強い活動と目標をあきらかにし取り組んだ成果です。

会員1300人の目標は、

第31回大会で

決められています。

決まっています。

決まっています。

決まっています。



この間の取り組みでは、40周年の犠牲者を中心とした記念集会で、

治安維持法犠牲者遺族の方の入会

があり、遺族の方が中心に2支部

が結成されました。40周年の取り

組みから5支部ができ、123人の

の会員が増えています。また6支

部再建で144人が増えています。

このように支部建設が同盟建設の

基礎であることを確信しました。

この9年間うち8年間前進を勝

ちとっています。前大会からは、

14支部が前進し、102人の前進

を勝ち取っています。

第45回大会の任務は、新しいス

テップを決めなければなりません。

戦前回帰の策動、戦後戦犯政治転

換へ「再び戦争と暗黒政治を許さ

ない」のわが同盟の旗が輝きを増

しています。市民と野党の共同こ

そ政治の民主化実現の道、わたし

たちの要求実現の道です。

同盟の役割を果たす首都東京に

ふさわしい同盟建設をめざし。50

周年に向け、1500人の同盟を、

東京全地域に同盟建設をめざし、

支部の倍加を決めました。

嶋育雄を再選しました。

(都本部事務局長・中嶋育雄)

福井

2000筆の署名と2000人の同盟建設

第35回県本部総会が9月4日、福井市のアオッサで20人が出席して開かれました。

最初に前総会後に逝去された7人の会員へ黙祷。来賓の共産党の

佐藤正雄県副委員長・県会議員か

ら激励と連帯あいさつがありました。

続いて、病氣療養中の西村明

宏会長が「体調を崩して会長にと

どまることは困難ですが、できる

限り同盟の発展に力をつくしたい」

とあいさつしました。

松本朗副会長の「情勢の特徴と

前総会後の活動、今後の方針につ

いて」の報告にもとづいて5人が

発言し、2000筆の署名と200

0人の同盟建設や犠牲者名簿の充

実と顕彰活動強化、いつせい地方

選挙では同盟と共同している候補

者の勝利のために奮闘する、など

の運動方針を決定しました。

会長に村井慶三(新)、事務局

長に吉田智明(新)を選出。

(県本部会長・村井慶三)

映画「わが青春つきるとも」 上映運動コーナー

◆「千代子ころざしの旗」全国に起つ 映画「伊藤千代子の生涯」は、7月の参院選後から第2次上映運動に入り、9月末現在、300会場で5万5千人が鑑賞、年末までには総計400会場となり、上映運動は45都道府県にまで前進しました。

◆アンコール上映始まる。打ち震える感動を再び、あの人も誘いたい、と会場から声上がり、見逃した人からの強い要望に応えよう!と苫小牧、旭川、江別、諏訪、松本、板橋などで再上映運動が始まりました。



また、全自治体上映めざす運動も開始されました。

◆没後93周年墓参会・碑前の集い 9月24日墓
FAX: 04・7174・2028
藤田まで

参会と碑前の集いが開かれ、長野県内各地からの参加者に、桂監督はじめ岩手、埼玉、千葉、東京、愛知からの参加者が合流し、全国800会場をめざす大運動を呼び掛けました(写真)。

ヘトピックス

映画『わが青春つきるとも』の「オリジナルサウンドトラック」千代子の運命、愛、そして希望」を10月中旬から発売。

テーマは「オーブニング・運命・誕生・成長・志・激動の時代・少女・進学・広がる運動・応援・女工たち・入党・弾圧・拷問・抵抗・獄中合唱―赤旗の歌・友情・花・精神病院へ・先生・お義母さん・死・愛と決別・希望・メインテーマ―わが青春つきるとも」の全25曲・31分。各地の上映会で「映画パンフ」原作本などと共に普及して下さい。

頒価 2500円 + 〒180円
―申込・全国の会
FAX: 04・7174・2028
藤田まで

治安維持法犠牲者の伝統を受け継ぐ

岩手県本部常任理事 對馬 範彦

この十年、妻の介護により活動から足が遠のいていた。

昨年4月に亡くなり、一周忌も過ぎたというのになかなか家から離れることが出来ずにいたところ、牛山靖夫さんから国賠同盟の手伝いをしてくれないかとの

電話があり、青年活動で指導、お世話になった方からのお誘いなので直ぐ了解した。

1994年全電通労組

を脱退して真の労働組合、

通信労組盛岡分会が結成され加盟

し新聞作成、会議等で岩手労連事

務所に度々足を運ぶようになった。

事務所の隅でワープロをうつ牛

山さんを見かけ話すようになり入

会した。この会の目的は「治安維

持法犠牲者の伝統を受け継ぎ……」

とあるが、思い出すのは青年活

動中、共産党講師資格試験を受講

する際「党史」を勉強、いろん

な方々の不屈な戦いのなかで市川正一の闘いに涙がとまらなかつた。

「獄中で非人間的な待遇のため栄養失調となり歯槽膿漏が悪化、刑務所の高梁入りの食事を食べることが出来ず指でそれをすりつぶしだんごにし食べていた。痩せ衰えながらもなお燃えるような闘志をもって侵略戦争に反対し断固とした闘い続けて宮城刑務所で獄死した」と。

私は党史を語るとき、市川正一の戦いを必ず伝えた。しかしこの部分になると声が震え話せなくなる。それが度々だった。

たくさんの先輩方のこのような不屈の戦いが私には出来るだろうか、何時もそのことを考えながら歩んできた。この会ではもつと先輩の方々が頑張っておられる。

私も残された人生何とかみなさんについていき、治安維持法犠牲者の伝統を受け継ぎ会の役に立てればと思います。

(『不屈』岩手県本部9月号から転載)

抵抗の群像



三・一五弾圧からの決意 つらぬいた小宮幸造

小宮幸造は1903（明治36）

年9月、神奈川県中郡神田村（現平塚市）に生まれた。家は代々地主だったが、父の代で破産。横須賀で車宿（人力車の手配）を経営するも失敗して、田村に帰って人力車夫になった。小宮が尋常小学校に入学するころが最も貧しく、

学校に通うのも難しかった。幼心に小宮は、二宮尊徳のような人になって家を再興しようと決心。12年、夜学に通わせるとの甘言に乗せられて尋常小を2年でやめ、東京・深川区の墨汁製造所で働いた。しかし、朝は5時から働

かされ、就寝は夜の9時か10時で、夜学どころでなかった。それでも3年がまん。その後は質屋や婦人洋服店などを転々とした。

もっと勉強したいと思った小宮は、東京で新聞配達をしながら神田の大成中学を目指したが、父が

病気で倒れた。田村に帰り、昼は相模紡績に勤め、夜は人力車夫として働きながら、国民中学会の講話で勉強した。23年、義兄の世話で須馬町役場（現平塚市）の月給30円の雇員となった。

同年9月1日の関東大震災は、平塚でも多くの被災者が出た。小宮は家にも帰らず、被災住民の救援に奔走。その功績で雇員から書記になり、月給も38円に上がった。2歳年上の碓井雄三を知ったのはそのころだった。碓井も小学校を5年で中退し、苦学して早稲田大学を出ていた。

新劇運動をしていた井上一郎や宮川隆治、内野竹千代らと知り合い、新青年同盟、新労働党準備会に参加、湘南合同労組を結成。小宮は推されて執行委員になった。

治安維持法による「三・一五弾圧」は、小宮の人生を変える大き

な転機となった。労働運動に専念しようと決意して役場を辞めた。東京・麻布の無産青年同盟の事務所を訪れ、新青年同盟準備会の活動をはじめた。リーダーの滝川恵一の下で活躍したが、10月のいつせいで検挙で鳥居坂警察に送られた。父が困窮していることから平塚に戻ると、内野、宮川らに、「両親の面倒は見るから、浦賀に行け」といわれて、そのまま浦賀町（現横須賀市）の桜井甚八を訪ねた。

彼は「半島自治」という新聞を月3回発行。小宮は発行人となり、宮川が編集責任者に。新聞は1回1000部ほど発行、浦賀ドックや横須賀工廠などに入れた。

29年の「四・一六弾圧」では、小宮のほか、宮川らが検挙された。小宮は共産党員ではなかったこともあって弾圧のねらいはまったく知らなかった。浦賀警察に10日間ほど拘留され水上警察に送られた。警察を出て平塚に戻ったところへ、母と妹が訪ねてくることを知り、宿を抜け出して秦野町（現秦野市）で活動を始めた。

再び東京に出て、自動車免許を

とった小宮は32年に結婚。東屋自動車木挽町営業所で運転手として働き、労働組合を結成。車は200数10台、従業員約400人だった。要求は拒否されたが、ストライキでたまたか勝利した。

ある日、三軒茶屋付近で全員集会をやるうと200台以上が集まったが、警察に包囲され全員検挙された。小宮は首謀者だとして激しい拷問を受けた。

その後、オーバン自動車で働き、組合執行委員に選ばれた。小宮はある日、特高警察に「ちよつと来い」と品川署に連行。留置場には東屋自動車の仲間がたくさん捕まっていた。「小宮が指導者だから聞いてくれ」といったようで、全員釈放され、小宮だけが残された。職を転々として、戦時下の生活苦に耐えながら終戦を迎えた。

戦後は、神奈川県内の共産党再建にいち早く参加。県内の労働運動、農民運動の指導にあたった。58〜60年まで、共産党県委員長を務め、88年4月に永眠、84歳だった。（「不屈」神奈川版1999年7月号から抜粋）

同盟文芸

短歌

碓田のぼる選

立場越え涙のハグとグータッチうまんちゅの心デニ

圧勝 沖縄県 塩田 伸子

妻逝きて目まい膝痛絶えざればホームに入ると決め

し九十四歳 大分県 渡辺 幹生

国葬をやめよと静かに立ち向かうスタンディングの

支部の同志ら 埼玉県 細谷 宣朗

待望の『わが青春つきるとも』日時場所決め鼓動高

鳴る 静岡県 江川 佐一

百年の党の歴史の半分を生ききぬ我も反戦掲げ

埼玉県 白川 洋子

政界を統一協会潰けにした大本の罪をこそ問え国葬

やめよ 岐阜県 田中 良

七五三の孫と二人の願い事平和を守れ戦争なくせ

兵庫県 岸本 守

入会権翳り弛まぬ努力して小繋の灯燃やし百周年来

ぬ 岩手県 小杉 正夫

「関係は知らなかった」などとシラを切る統一教会

に大ゆれの自民 岐阜県 和田 昌三

日本も過去戦前にはブーチンと同じことをしていた

ことを知れ 島根県 小玉 信恵

〈選のあとに〉塩田作品、沖縄知事選を大差で勝利

した感動がひしひしと伝わってくる。日本中が力づ

けられた喜びである。渡辺作品、老いの哀感がこも

る。〈自愛されよと願うわれらも九十四歳〉。細谷

俳句

望月たけし選

プロメテウスの知らぬ核の火秋の暮

東京都 岡崎たかね

布団干し風に孫の香盆明ける

岩手県 畠山 文裕

有線の熱中症の注意報

島根県 小玉 信恵

夾竹桃兄赤紙で征きました

兵庫県 岸本 守

義民碑に供うは白き薔薇の束

三重県 橋本しげる

《評》一句目、またブーチン大統領の核威嚇。核兵

器使用は絶対に許さない。二句目、孫が三年ぶりに

来て、成長した体臭を蒲団に残して帰った。感動の

布団干し。四句目、戦争をしてはいけないと兄を詠

みつづける。

川柳 鈴木いさお選

死してなお火種つきない元総理

東京都 稲邑 明也

《評》モリカケサクラは元より、旧統一教会との癒

着など、仏になってからもでも話題豊富なお方で：

教団の利害バジで後押しし

北海道 三隅 雅彦

これ以上汚すのやめて地球から

大阪府 大和 峯二

国葬とはこういうものよとエリザベス

笹の墓標展示館

全国巡回展を開催中

これまでの展示館は北海道深川市一乗寺で25年間展示後、2020年冬、雪の重みに耐えかねて倒壊しました。隣にあった庫裏(宿泊施設)も雪下ろしの際の失火で全焼してしまいました。

笹の墓標展示館の再建を願って募金活動が始まりました。6000万円の目標に現在までに4500万円の募金が寄せられ、来年は再建が目指されています。

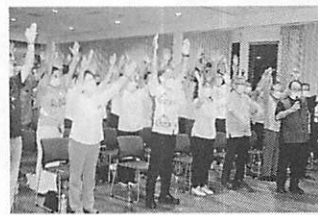
展示されてきた位牌やお骨箱、さまざまな遺品などを全国で公開展示する「笹の墓標展示館全国巡回展」が北海道から新潟、富山、名古屋そして大阪(9月21日)25日・北御堂)、東京(10月5日)13日・築地本願寺)、京都(10月17日)25日・西本願寺)で開催されています。ぜひご覧ください。



ぜひご覧ください。

県知事選挙でデニー知事が圧倒
勝全国からのご支援に感謝!

沖縄県本部会長 村山純



「オール沖縄」の玉城デニー候補が、自公がおした候補者に大差をつけ勝利した。玉城氏は最大の争点である基地問題で「辺野古新基地建設反対

普天間基地は閉鎖・撤去」を明確にし「辺野古新基地容認」の佐喜眞候補「鹿児島県馬毛島への訓練移転」の地下候補

などと正面から対峙して闘った。相手候補が旧統一協会と深いつながりがあったことにも県民から

の批判と怒りが広がった。「土地規制法」は、政府が米軍・自衛隊基地や国境離島などで、土地の利用状況を調査し、妨害行為への中止勧告や命令を可能にする法律。県内では「戦没者の遺骨が含まれている土砂を辺野古の基地建設に使うな」「人権を奪う土地規制法を廃止せよ!」と政府への怒りと抗議の声がひろがっている。

県本部も「オール沖縄」の一翼としてデニー県政を支え、「基地のない平和で豊かな沖縄」をめざして全力をあげた。

10月の豊見城市、県都那覇市の市長選挙で必ず勝利する決意。全国の皆様の引き続きのご支援を心から願います。

の批判と怒りが広がった。「土地規制法」は、政府が米軍・自衛隊基地や国境離島などで、土地の利用状況を調査し、妨害行為への中止勧告や命令を可能にする法律。県内では「戦没者の遺骨が含まれている土砂を辺野古の基地建設に使うな」「人権を奪う土地規制法を廃止せよ!」と政府への怒りと抗議の声がひろがっている。

第31回全国女性交流集会

日時 2022年11月6日(日) 午後1時開会

11月7日(月) 午前9時から分科会

会場 ニューウェルシティ湯河原

記念講演 女性の権利・ジェンダー平等
時代を拓く不屈の闘い

講師 田村 智子さん(参議院議員)

※申込み締め切りは、10月20日(木)、都道府県本部に参加申込書、集会要領、分科会案内をお送りします。

【支部結成】

愛知県瀬戸支部

7月15日、愛知県に新支部が誕生しました。瀬戸市には、6人の点在会員がいましたが、初代支部長となる水野和男さんが映画『伊藤千代子』を取り組むなかで、ひとりを拡大し、7人の支部として発足しました。

【訂正】

本紙9月号4ページの3段目からの高知県本部総会の記事の見出しの滋賀県を高知県に訂正します。

事務局日誌

9月1日 中央常任理事会
9月7日 「不屈」編集会議
9月13日 布施辰治墓参会
9月14日 学習テキスト検討会
9月19日 東京都本部大会、9/19 改憲阻止、安倍国葬反対中央集会
9月21日 全労連会館運営委員会
9月22日 日本母親大会実行委員会
9月27日 安倍国葬反対国会前大行動

2022年春季号 (43号)

『治安維持法と現代』

好評発売中

治安維持法と現代



【主な内容】＜巻頭論文＞「日本学術会議会員任命拒否から1年半＝広渡清吾、「國體について」＝前川喜平、＜情勢学習＞「維新」自公政権の悪政の中、総選挙躍進の謎＝西谷文和、帰路に立つ「連合」一新会長の野党共闘批判＝青山悠、「歴史戦」とは何か―そのねらいと歪曲された歴史認識＝山田敬男、改憲策動に立ち向かう構え＝内藤功、岸田内閣の危険な防衛政策、軍拡予算＝千坂純、大自然と県民の闘いが阻む新基地建設＝早坂義郎、《文化・芸術》縄文時代研究―考古学と唯物史観＝勅使河原彰、日本最古の鉄道遺跡＝山沢猛、さようなら小三治さん、寂聴さん＝澤田勝雄、《治安維持法下の闘い・同盟活動》治安維持法で弾圧された宗教者たち＝後藤太刀味、映画評「わが青春つきるとも」＝伊藤千代子の生涯」＝石子順。

治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌

定価1000円、申込みは中央本部・各都道府県本部へ。